


平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
1-1	安全・安心まちづくり推進事業	継続	H20	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課	対象者	安全・安心まちづくり 関係団体	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容	市民・こども局 安全・安心まちづくり事業	
目的及び内容	犯罪抑止効果があるとされている「青色防犯灯」を、小杉町2丁目における試験設置した。検証の結果を踏まえ、他の地域に設置することにより、区内の街頭犯罪の抑制を図る。さらに、併せて当該地域団体に対して防犯ベスト等を貸与することにより、防犯意識の向上及び地域団体の主体的な活動を推進する。また、自動車を使用した防犯パトロールに協力していただける地域団体に対して「青色回転灯」を貸与し、広範囲な防犯パトロールを推進する。			
予算額	257,000(円)	決算額	22,575(円)	不用額
不用の理由	青色回転灯を活用しての防犯パトロールや青色防犯灯設置を希望する防犯活動団体がなかったため			
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  (駐輪場に設置した青色回転灯)	青色回転灯を活用してのパトロールは、地域で防犯活動を行う団体により検討されたが、いずれも車両の使用が必須であることから、実現に至らなかった。青色防犯等に関しては、警察より駐輪場内での自転車盗難の件数が増えていることもあり、犯罪抑止効果を期待し、駐輪場内への設置要望があり、実施した。 なお、青色防犯灯については、平成19年度に小杉町2丁目町内会で試験実施し、平成20年度は関係団体に設置呼び掛けを行ったが、通常の白色防犯灯に比べ、照度や維持経費の関係、また防犯上の効果の実証が明確になされていないなどの点で、設置を希望する団体がなかった。		
	実施時期 (開催日/回数等)	平成20年6月27日	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 区内で自転車の盗難が多発しているため、警察と連携して試験的に東武武蔵小杉駅自転車等第3駐車場において平成20年6月27日に青色回転灯を設置した。実施効果としては検証期間が設置後間もないことあり判断に迷う部分はあるが、一定の効果は現れていると思われる。 実施効果「中原警察署生活安全課データによる」 青色回転灯設置前(平成20年1月1日~平成20年6月27日) 自転車盗発生件数 5件 設置後(平成20年6月28日~平成20年12月10日) 同 3件
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	青色回転灯の貸与については、既に実施している団体の活動PRなどを行いながら、引き続き実施可能な団体を募っていく。(他の予算執行で対応) 青色防犯灯については、今後は市の事業としても他地域で実施する予定がないため、設置希望団体の申請状況により判断していく。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見


各地域、町内会・自治会において防犯パトロールが行われていますので、青色防犯灯の貸与は終了で良いと思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
1-2	中原区ガイドマップ(安心マップ)作成事業	継続	H17	企画課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所	対象者	区民	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	区の概要や公共施設、医療機関、防災拠点などを掲載したマップを、市外・区外からの転入者などに配布し安全で安心な生活を支援する。			
予算額	2,562,000(円)	決算額	2,306,850(円)	不用額 255,150(円)
不用の理由	契約差金			
結果・成果	 <p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p> <p>ガイドマップ(冊子版)</p>	<p>中原区ガイドマップ(冊子：A5版、52頁)を25,000部作成し、区役所窓口などで配布した。</p> <p>また、ガイドブック(折りたたみ式：A0版折りたたみ式)を3,000部作成し、区役所売店などでの販売を行った。</p>		
		実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
新規転入者の増加が著しい中原区において、区内の各種情報を掲載したガイドマップを作成し配布することは、住民の利便性の向上に繋がった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	窓口での配布は、A5版ブックで、A0版折りたたみ式のマップは販売となっている。利用者からは、見開きで使用できるマップへの要望もあり、マップの形式を検討していく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見


新住民にとっては、とても役立つものと思いますので、継続は良いと思います。情報発信では、ホームページなどの活用の検討が必要と思われます。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
1 - 3	新丸子駅前サイン補修設置委託事業	新規	平成20年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	株式会社 アイ・デザイン		対象者	一般区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他 ()	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	平成16年度に当区で採用されたサインマニュアルに基づき、東横線新丸子駅前に設置した拠点サインの地図部分が悪戯により剥離してしまったため、早急な現状復旧が求められていることから緊急対応経費にて事業実施した。 このサインは、駅前にあることやフロンターレ支援としての等々力競技場への案内図も兼ねていることから、地元の要望は勿論のこと景観的にも早急な対応が求められていた。					
予算額	95,000(円)	決算額	94,500(円)	不用額	500(円)	
不用の理由						
結果・成果	 <p>(通報直後の写真)</p>		区民からの通報により、現場確認のうえ必要性や景観上の視点を考慮し、緊急対応経費にて補修委託を決定した。 案内図面の作成にあたっては、デザイン選定に関わった業者を選択し、データ作成などの作成経費を極力抑える一方、設置までの期間を出来るだけ短縮するよう努力した結果、情報入手(通報)から1ヶ月あまりで設置完了した。			
			実施時期 (開催日/回数等)	9月20日 (設置日)	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
駅前に設置されている案内図面という性質上、多くの乗降客や地元区民の目に触れ、放置したままの状態は避けるべきであったので、緊急対応経費での事業執行となった。 計画に沿った事業でないため、緊急性に主眼を置かざるを得ない事業である一方、駅周辺のサインに対する維持管理経費を計上していない事実もあるので、今後同様な事業発生に対しても考慮する必要がある。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	緊急対応での事業実施のため、終了とする。 上述の事業評価にも記したとおり、同時期に複数の案内看板の破損などの対応については、別途に継続的な協議が必要と思われる。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

知らない場所で、地図が設置されているのは助かる事です。今後は、地域の目で悪戯や破損などを注視したいと思います。
